

業務紹介

～国営土地改良事業地区調査「^{あ せ い し が わ}浅瀬石川二期地区」～

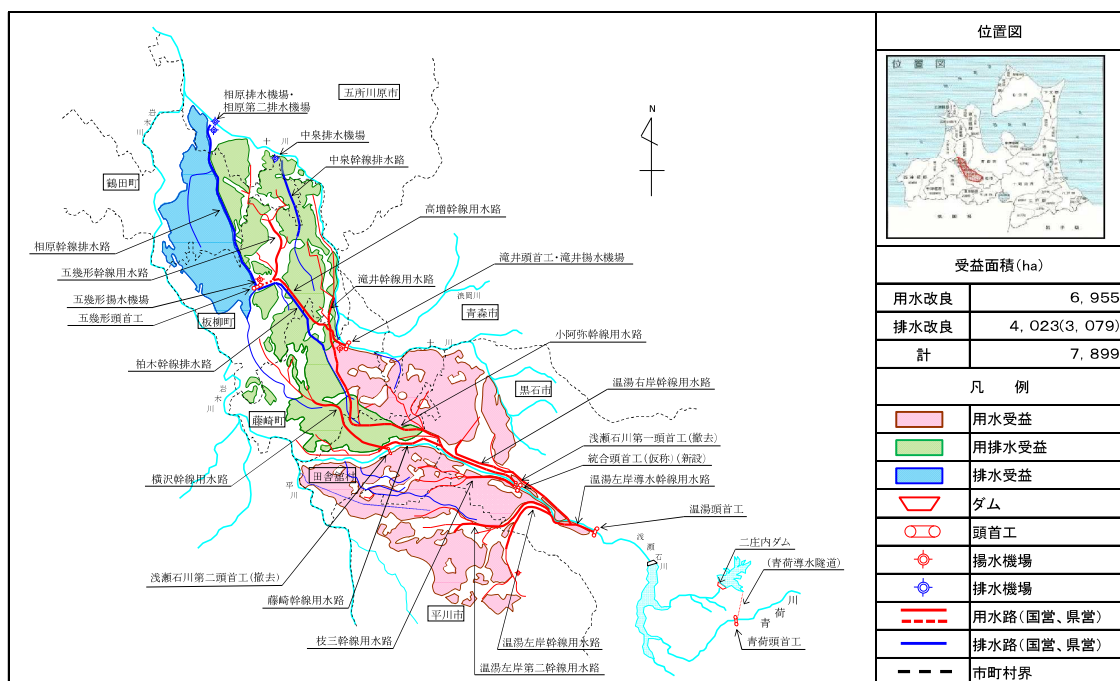
本地区は、平成 27 年度より国営土地改良事業地区調査に着手し、昨年度末には国営浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会において、平成 31 年度からの全体実施設計移行について議決されました。これを受け本年度は全体実施設計移行手続きを行うとともに、地区調査の取りまとめとして事業計画書(案)を作成します。ここでは、その概要について紹介します。

1. 地区概要

本地区は、青森県南西部に位置し、青森市外 3 市 3 町 1 村にまたがる農業地帯です。本地区の営農は、水稻を中心に、水田の畑利用による大豆、小麦の土地利用型作物や野菜等、さらに、樹園地におけるりんごを組み合わせた農業経営が展開されています。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営浅瀬石川土地改良事業（昭和 50 年度～平成 7 年度）等により造成されましたが、経年的な施設の劣化により、頭首工のゲート設備や水管理施設等においては、老朽化し取水管理に支障を来しており、ダムや揚排水機場、幹線用排水路においては、コンクリート構造物のひび割れや欠損、倒伏等により農業用水の安定供給及び排水機能の維持に支障を来しています。また、浅瀬石川第一頭首工等については、必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生しこれら施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

このため、本事業では老朽化が進行している施設の改修と、大規模地震に対し必要な耐震性を有していない施設の耐震化対策に加え、頭首工の統廃合による用水再編を行い、農業用水の安定供給、排水機能の維持と維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持向上及び農業経営の安定に資する整備が必要となっています。



注) 受益面積は平成 29 年 4 月時点。排水改良の受益面積の括弧書きは用水改良の受益面積と重複。

業 務 紹 介

2. 平成 30 年度調査の概要

平成 29 年度は、平成 29 年 4 月時点の受益面積を精査し、高収益作物の導入を目指した営農計画の検討、用水計画の検討、統合頭首工(仮称)等の施設計画により、事業構想(案)をとりまとめました。

平成 30 年度は、一筆調書及び三条資格者の精査、営農計画の補足、用排水計画、耐震性能照査未実施施設の耐震性能照査を踏まえた施設計画及び事業効果について精査するとともに、環境配慮計画(案)を策定し、土地改良事業計画書(案)を取りまとめます。

3. 国営浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会

浅瀬石川二期地区の事業推進を目的として、平成 26 年 5 月に本地区の関係機関(関係市町村、浅瀬石川土地改良区、津軽平川土地改良区)により「浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会」が設立され、幹事会は年数回、通常総会は例年 5 月に開催しています。

また、各種調査の実施に当たっては、促進協議会の下部組織である「営農検討部会」及び「環境配慮検討部会」において、関係機関、地域の専門家、地元農家等の参画を得ながら進めています。

①営農検討部会

県、市町村、JA、地元農家代表等で構成され、本地区における営農計画の策定を目的に、平成 26 年 10 月に設置されました。第 5 回営農検討部会は平成 30 年 1 月に開催され、地区内の代表作物の作付計画及び経営計画について検討を行い、営農計画(案)を作成しました。平成 30 年度は、最新の作付計画の動向を把握し、営農計画(案)の精査を行う予定です。

②環境配慮検討部会

県、市町村、有識者、地域住民等で構成され、本地区の環境配慮計画の策定を目的として、平成 27 年 5 月に設置されました。第 6 回環境配慮検討部会は平成 29 年 7 月に開催され、施工時の具体的な環境配慮対策をとりまとめる環境配慮計画(案)の検討を行いました。平成 30 年度は環境配慮検討部会の下部組織「魚道検討分科会」での有識者の助言による魚道遡上調査等の環境調査を行い、魚道構造等について合意形成を得た上で、環境配慮計画(案)をとりまとめる予定です。

主な調査対象施設



▲二庄内ダム



▲浅瀬石川第一頭首工(魚道)



▲中泉幹線排水路

業 務 紹 介

～国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 (機能保全計画策定事業)の実施状況～

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業（機能保全計画策定事業）※は、土地改良長期計画に示す「老朽化や災害リスクに対応した農業水利施設の戦略的な保全管理」を推進するため、国営造成水利施設の機能診断及び保全計画の策定、重要度の高い国営造成施設の耐震照査を実施しています。

※旧国営造成水利施設保全対策指導事業から事業名が変更となりました。

1. 平成 29 年度の実施状況

地 区 名	施 設 名	実 施 内 容
西津軽地区	新小戸六ダム	耐震照査及びこれに要する地質調査等
岩木川左岸地区	生田揚排水機場	土木設備、機械設備の機能診断及び保全計画の策定
	稲垣揚排水機場	土木設備の機能診断及び保全計画の策定
平川地区	三ツ目内頭首工	〃
	大和沢頭首工	〃



▲生田揚排水機場 内視鏡による内部調査



▲大和沢頭首工 エプロンの摩耗・鉄筋露出

2. 平成 30 年度の実施予定

地 区 名	施 設 名	実 施 内 容
小田川地区	前堰用水路	土木設備の機能診断及び保全計画の策定
西津軽地区	新小戸六ダム	レベル 2 地震動に対する耐震照査及びこれに要する各種計測機器による計測、地質調査結果の整理等
	廻堰導水路	土木設備の機能診断及び保全計画の策定
	桑野木田放水路	土木設備及び機械設備の機能診断及び保全計画の策定
八戸平原地区	世増ダム	健全性評価及び耐震照査に必要な資料収集及び検討条件の整理等

機能診断の実施にあたっては、土地改良区の皆様に御協力をお願いすることもありますので、その際はよろしくお願いします。

3. その他

機能診断及び保全計画の策定は、造成後の経過年数、社会面・農業面での重要度、施設の状況などを総合的に勘案して選定しておりますが、機能診断の対象としていない施設についても、不具合等がありましたら当事務所保全計画課まで御一報をお願いします。

	編	集	後	記		
--	---	---	---	---	--	--

夕方、弘前市内を歩くと“弘前ねぷた”の灯籠の制作の現場に出会ったり、ねぷた囃子を練習している笛や太鼓の音色を聞いたりすることがあります。弘前ねぷたに代表されるねぷた行事は、農作業の激しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払い、厄災・邪悪を水に流して村の外に送り出す行事と言われています。

世代は変わっていても、綿々と続いている祭りの準備の光景には、郷愁を誘われるとともに夏が近づいていると実感します。

夏といえば、高校野球「夏の甲子園」ですが、第 100 回記念大会の今年は、史上最多の 56 地区の代表が甲子園出場を目指します。

こちらも世代を超えて熱戦を繰り返し、第 100 回を数えるまでとなりましたが、是非、この記念の大会で東北地区から悲願の初優勝校が出ることを期待します。

暑い夏になると良いですね。

夕方、弘前市内を歩くと“弘前ねぷた”の灯籠の制作の現場に出会ったり、ねぷた囃子を練習している笛や太鼓の音色を聞いたりすることがあります。弘前ねぷたに代表されるねぷた行事は、農作業の激しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払い、厄災・邪悪を水に流して村の外に送り出す行事と言われています。

世代は変わっていても、綿々と続いている祭りの準備の光景には、郷愁を誘われるとともに夏が近づいていると実感します。

夏といえば、高校野球「夏の甲子園」ですが、第 100 回記念大会の今年は、史上最多の 56 地区の代表が甲子園出場を目指します。

こちらも世代を超えて熱戦を繰り返し、第 100 回を数えるまでとなりましたが、是非、この記念の大会で東北地区から悲願の初優勝校が出ることを期待します。

暑い夏になると良いですね。

夕方、弘前市内を歩くと“弘前ねぷた”の灯籠の制作の現場に出会ったり、ねぷた囃子を練習している笛や太鼓の音色を聞いたりすることがあります。弘前ねぷたに代表されるねぷた行事は、農作業の激しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払い、厄災・邪悪を水に流して村の外に送り出す行事と言われています。

世代は変わっていても、綿々と続いている祭りの準備の光景には、郷愁を誘われるとともに夏が近づいていると実感します。

夏といえば、高校野球「夏の甲子園」ですが、第 100 回記念大会の今年は、史上最多の 56 地区の代表が甲子園出場を目指します。

こちらも世代を超えて熱戦を繰り返し、第 100 回を数えるまでとなりましたが、是非、この記念の大会で東北地区から悲願の初優勝校が出ることを期待します。

暑い夏になると良いですね。

夕方、弘前市内を歩くと“弘前ねぷた”の灯籠の制作の現場に出会ったり、ねぷた囃子を練習している笛や太鼓の音色を聞いたりすることがあります。弘前ねぷたに代表されるねぷた行事は、農作業の激しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払い、厄災・邪悪を水に流して村の外に送り出す行事と言われています。

世代は変わっていても、綿々と続いている祭りの準備の光景には、郷愁を誘われるとともに夏が近づいていると実感します。

夏といえば、高校野球「夏の甲子園」ですが、第 100 回記念大会の今年は、史上最多の 56 地区の代表が甲子園出場を目指します。

こちらも世代を超えて熱戦を繰り返し、第 100 回を数えるまでとなりましたが、是非、この記念の大会で東北地区から悲願の初優勝校が出ることを期待します。

暑い夏になると良いですね。

夕方、弘前市内を歩くと“弘前ねぷた”の灯籠の制作の現場に出会ったり、ねぷた囃子を練習している笛や太鼓の音色を聞いたりすることがあります。弘前ねぷたに代表されるねぷた行事は、農作業の激しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払い、厄災・邪悪を水に流して村の外に送り出す行事と言われています。

世代は変わっていても、綿々と続いている祭りの準備の光景には、郷愁を誘われるとともに夏が近づいていると実感します。

夏といえば、高校野球「夏の甲子園」ですが、第 100 回記念大会の今年は、史上最多の 56 地区の代表が甲子園出場を目指します。

こちらも世代を超えて熱戦を繰り返し、第 100 回を数えるまでとなりましたが、是非、この記念の大会で東北地区から悲願の初優勝校が出ることを期待します。

暑い夏になると良いですね。



東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所

〒036-8214 青森県弘前市新寺町149-2

TEL 0172 (32) 8457 FAX 0172 (35) 3490

HP : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitaouu/index.html>

東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所

〒036-8214 青森県弘前市新寺町149-2

TEL 0172 (32) 8457 FAX 0172 (35) 3490

HP : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitaouu/index.html>

東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所

〒036-8214 青森県弘前市新寺町149-2

TEL 0172 (32) 8457 FAX 0172 (35) 3490

HP : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitaouu/index.html>

東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所

〒036-8214 青森県弘前市新寺町149-2

TEL 0172 (32) 8457 FAX 0172 (35) 3490

HP : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitaouu/index.html>

この印刷物は、印刷用紙などの紙へのリサイクルに適した資材のみを用いて制作しました。

農林水産省